

新市まちづくりの

基本姿勢は

津田實



問 まちづくりの基本施策は、人権、協働、環境、地域福祉、子育て、教育、産業振興等、新市から一年が経過したが、住民からの視線は何れも厳しい行政不信を招いている。いよいよ、18年度予算編成期に直面し行財政の改

革と効率効果、プライマリーバランスの財政運営等、舵取りを再確認し、市の基本計画策定にあたり公債依存型予算からの脱却策、次に市民協働のまちづくり自治基本条例を早期に立ち上げ、市民の声を施策に反映し、官

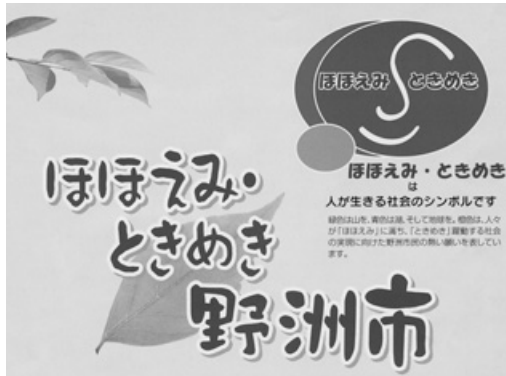
市民と共に歩む 市政運営の展開を

市長

答 市長就任以来、新市まちづくり計画の基本理念に基づき、市民の融和を基本に市政運営を行ってきた。新市はまちづくりの緒に付いたばかりで、この一年は合併協議の事後処理等の施策展開を中心にやってきた。しかし、その間もまちづくりの基本理念である人権、環境、市民協働を軸に庁内組織改編など二年目の市政運営の基盤づくりに邁進中である。

今後は、市総合計画やご指摘の市の進むべき道筋を描くと共に、透明性、公平性の確保等に留意し事業展開を図りたい。

特に、まちづくり基本条例の制定は市民の自律性を担保するまちづくりの根幹となる基本条例であり、市民の意見を聞きながらできるだけ早急に制定し、まちづくりのバックボーン



ンとして市政運営につなげたい。

ファミリー・サポート・センター設置を

中田幸子



問 核家族化が進む一方でコミュニケーションのつながりが希薄となっている今日、子ども、高齢者、心身にハンディを持つ人も誰でも自由に通い、隣近所的な居心地よく集える世代間交流のできる場所

づくりが必要と考える。育児や介護の援助を受けた人と提供したい人が会員となり、助け合う組織で、保幼、学童保育後の送迎と預り等、また、閉こもりや、ひとりぐらしの高齢者が出かけたくなる居場所であり、子育て、高齢者の支援対策、世代間交流がひとつの場で行える「市民ファミリーサポートセンター」の設置を、多くの住民は早急に対策を願っている。

多様な地域サポート システムの場所づくりを

市民健康福祉部長

答 当事業を子育て支援センターにおいて、18年度より開始すべく実施方法の検討や、子育て支援ボランティアの養成に着手している。

づくりを目標とし、申し出があれば積極的に支援する考えです。

次に高齢者や子育て支援、世代間交流の場設置については平成15年度に県は「あったかほーむづくり事業」を開始し、民家や空き店舗等を活用し「地域家族」づくりと介護や子育てサービス、生活支援等多様な地域サポートシステムづくりの場所



世代間交流



給食センター予定地

また、今後の運営に対して

学校給食センターの建設予定地は 中主小の照明は

田中孝嗣



問 ①給食センター建設を断念した土地は、見るからに荒れ放題になっているが、急くならなせもって誠意ある対応をして、早期解決に努めなかったのか。

新しい建設予定地は、市道西河原童子川線がメイン道路となるが、道も狭く、路線バスや附近の会社の大型車も多く通り、今でも危険な所である。

なお多くの配送及び回収車、納入業者の車、職員の車の通行を考えると、附近の人々の安全が損なわれる恐れがある。

これから工事車両も多く通り、この附近は農道もあり、住民の通行の妨げや、事故も心配しなければならぬ。

住民に迷惑が掛からないように、農道や自治会の中を通らないように、

安全対策を十分に

教育部長

答 ①断念した土地については9月18日に、3人の方と誠意をもってお話をす。

新給食センターの建設に

また、今後の運営に対して

約束出来るのか。又そのための道も作れるのか。
②当初予算を組みながら、未だに出来てない中主小のナイター設備、誰が考えても子どもに影響のない夏休み中に工事を完了して、秋の気候がよい運動会の時期に住民に利用をして頂くのがベストなのか、どうなっているのか。

野洲病院の

今後の在り方は

山本勇作



問 野洲病院は昭和34年に診療所として開所され、当時地域内での数少ない医療機関であったが、今日では唯一の二次機能病院として開院されている中で質問する。

①高齢化の進展により療養病床の確保計画と第5次医療法改正に伴う基準病床数はどうなるのか。
②東館の耐震補強と駐車場の狭隘策について。
③診療患者との業務対応のあり方について。
④地域に貢献している病院の借入金現在30億円あるが新築移転計画すれば市として財政支援されるのかどうか。

増床は難しい 移転なら財政支援

市民健康福祉部長

答 ①療養病床確保は現在湖南保健医療圏には2574床中、2573床の基準病床が整備されているため新許可病床数はない。基準病床数の見直しは湖南圏域は病床数が多いので増床は難しい。
②東館耐震補強や駐車場狭隘策等は敷地内に仮設病床の建設が不可能と考

えている。駐車は一時的に満車でも可能。
③患者対応については全職員に接遇研修し患者満足度の向上に努力する。
④新築移転計画された場合は耐震調査も含めて病棟の将来構想を検討し、移転する場合は財政支援をする。



野洲病院玄関前